

日本アフリカ学会第52回学術大会 2015年5月23日
(犬山国際観光センター“フロイデ”)

愛すべき「独裁者」、 ヴァレンタイン・ストラッサー

独裁者になれなかった為政者から
考察するシエラレオネの国家と社会

岡野英之

専門研究員

立命館大学・衣笠総合研究機構

okano.hideyuki@gmail.com

1

岡野と申します。4月からポスドクの立場で立命館大学に籍を置くようになりました。宜しくお願いします。

私はアフリカ学会では、これまでシエラレオネおよびリベリアの内戦について発表してきました。今回の発表は内戦を離れ、シエラレオネの中央政府について論じたいと思います。特に、クーデターと社会との関係を論じていきます。

そのため、まずは少しフォーカスを広げ、西アフリカ全体を見てみます。

●問題の所在：

- ・ 1980～90年代の西アフリカではクーデターがいくつか発生している。比較的若く、ランクも低く、教育レベルも低い軍人によって引き起こされた。

例) リベリア、ガンビア、ブルキナファソ、ガーナ

⇒「下からのクーデター」(Coups from Below)

(Kandeh 2004)

- ・ こうしたクーデターは、腐敗した上層部に対する下層の軍人による反発として理解できる。

「下からのクーデター」に参加するのはどのような人々か

2

・1980代から90年代の西アフリカでは、クーデターがいくつか発生しています。その特徴は、比較的若く、ランクも低く、教育レベルも低い軍人によって引き起こされたというものです。

政治学者カンデは、そうしたクーデターを「下からのクーデター」と呼びました。

・カンデによるとそのメカニズムは次のようになります。

・軍部において上層部と下層部が分かれ、上層部は腐敗した政治の中で甘い汁を吸うようになります。そうした状況に不満を持った下層の軍人が反発し、クーデターを決行するというのです。

・シエラレオネも例外ではありません。本発表は、シエラレオネで下からのクーデターに参加したのはどのよう

● シエラレオネのクーデター

- ・ 1992年4月、クーデターが発生し、その首謀者によって軍事政権「国家暫定統治委員会」(National Provisional Ruling Council : NPRC)が成立。
- ・ NPRC議長となったのが、ヴァレンティン・ストラッサー大尉(弱冠27歳でNPRCの議長に)。



ストラッサーを始め、「下からのクーデター」に参加した人物をみると、シエラレオネの社会が見えてくる。

・シエラレオネでは、1992年4月、クーデターが発生し、その首謀者らによって軍事政権「国家暫定統治委員会」が成立しました。NPRCと略称されます。そこで議長となったのが、ヴァレンティン・ストラッサー大尉でした。弱冠27歳でNPRCの議長となります。

・今回の発表では、「ストラッサーを始め、下からのクーデターに参加した人物をみると、シエラレオネの社会が見えてくる」という主張に基づいて議論を展開することにします。

● 構成

1. クーデター以降の経緯の確認
2. 2つのテーマにそってNPRCおよびその構成員をみることで、シエラレオネの社会を考察する。

- ① NPRCの構成員の出自およびその後の人生にはシエラレオネの政治・社会構造が反映されている。
- ② 独裁者になれなかったストラッサーは、その後、政権を追われた後、根なし草の若者ともいえる生活を送った。

4

構成は以下の通りです。

まず、クーデター以降の経緯を確認します。

つぎに、スライドにある二つのテーマにそってNPRCおよびその構成員をみることで、シエラレオネの社会と国家を考察する。

クーデター以降の経緯の確認

5

では、まずクーデター以降の経緯の確認からです。

1992年4月25日、クーデター発生

New Citizen, 11 May 1992



クーデターが発生したのは、1992年4月25日です。

このクーデターは内戦の渦中に発生します。とはいえ、内戦はこの時にはまだ首都から離れた地域での問題にすぎませんでした。武装勢力RUFとの戦いのために前線に派遣されていた若手将校が、ひそかに首都フリータウンへと戻り、クーデターを決行しました。

これにより、モモ大統領は、亡命し、一党独裁政権に終止符が打たれました。

NPRCの設立とヴァレンタイン・ストラッサー大尉の議長就任。

- 4/29 クーデター発生
- 5/1 NPRC構成員を公表。
ストラッサーが議長に。
- 5/2 各省庁の大臣を含めた
内閣の構成を発表。



West Africa, 15-21 June, 1992

7

クーデターの後、クーデターの首謀者らはガーナのローリングスなどにアドバイスを求め、政権運営を始めます。まず憲法を停止し、軍事政権NPRCを作ります(Richards 1996: 9)。

NPRCの政策

1. 内戦の終結に向けた軍備強化
 2. 大衆に訴えける政策
 - ストラッサーは「世直し人」(redeemer)
 - (1) 反腐敗政策
 - (2) 「町をきれいにする掃除」キャンペーン
 - 道路の補修
 - 月一回の町の掃除に住民を動員
- ⇒NPRCは民政移管を拒み、権力に個執し、腐敗するようになる。

NPRCが前面に押し出した政策は、3つに集約できます。

第一に、内戦の終結に向けた軍備の強化で、これまでよりも多くの資金が導入され、人員も大量に動員されました。

残りの二つは、大衆に訴えかけるような内容です。ストラッサーは自らをRedeemer、すなわち「世直し人」と呼びました。

ということでNPRCによる政策の第二の柱は、反腐敗政策です。腐敗調査委員会を立ち上げ、その調査に基づき、元閣僚や上級官僚を公職追放し、賠償を命じました。

第三に、「街をきれいにする掃除」キャンペーンです。道路の補修をしたり、月一回の掃除デーを設け、人々を町の掃除に動員しました。私は2008年以降、シエラレオネで調査を行っているのですが、NPRC政権のころの経験を聞くと、街がきれいになったとけっこう多くの人が答えるのが印象的でした。

⇒しかし、こうしたNPRCも数年のうちに腐敗し、民政移管を拒むようになります。

では、次にふたつのテーマにそって、NPRC、および、その参加者のその後について考察を加えたいと思います。

テーマ1.

NPRCの構成員の出自およびその後の人生にはシエラレオネの政治・社会構造が反映されている。

9

第一のテーマは、NPRCの構成員の出自およびその後の人生にはシエラレオネの政治・社会構造が反映されている、ということです。

先行研究におけるシエラレオネの社会と国家

- **政治家の多くは首長層出身 (Kilson 1966)**

植民地統治下で、教育に最初にアクセスしたのが首長層であった。その結果、首長層から政治家が多く輩出された。

- **根なし草の若者 (Richards, Bah and Vincent 2004)**

反失業状態にある若年層が、闇経済や犯罪に足を突っ込むという問題があったのです。これらの根なし草の若者が、シエラレオネ内戦を引き起こした武装勢力RUFに多く加入した。

- **内戦は、「首長層 vs 根なし草の若者」という対立構造に (岡野2015)**

政府は首長層が自警のために動員した若者を組織化して政府系勢力を作った。その結果、内戦は、「首長層 vs 根なし草の若者」という図式をとるようになった。

まずは先行研究から、シエラレオネの社会と国家について確認していきましょう。

- **第一に、政治家の多くは首長層出身です。**

シエラレオネでは、首長は行政上の役職です。イギリス植民地統治期、ローカルな指導層は、その地を統括する首長に任命されました。すなわちローカルな指導者が行政職として植民地統治に取り込まれたわけです。その際、首長となれるのはその指導層の家系に限られました。その結果、特定の家系のみが首長を輩出することができるようになり、その制度は現在まで続いています。

植民地統治下で、最初に教育にアクセスできたのが行政職とあった首長層の子弟でした。彼らは英語での読み書きをおぼえます。その結果、首長層から政治家が多く輩出されました。

- **第二に、シエラレオネの内戦には、根なし草の若者という社会的背景がある。**

都市部、あるいは、ダイヤモンド鉱山には根なし草の若者が滞留していました。いわば、地縁血縁を離れた定職のない若年層が、闇経済や犯罪に足を突っ込むんでいるという問題あったのです。

シエラレオネのそうした若者はしばしば政治暴力に動員されました。シエラレオネ内戦を引き起こした武装勢力RUFが勢力を伸ばしたのも、こうした若者が加入したからだという研究もあります。

- **第三に内戦は、首長層 と根なし草の若者の対立という構造へと変化していきます。**

政府は首長層が自警のために動員した若者を組織化して政府系勢力を作りました。その結果、内戦は、「首長層側と、根なし草の若者の対立という図式をとるようになった。

ストラッサーの生き立ち

ストラッサーは、都市部の若者を代表する存在である。

- 1967年に首都フリータウンで生まれる。
- 1985年に18歳で中等教育を修了後、軍隊にはいる。
- 中等教育を出ているものの(エリートは必ず流暢にしゃべれる)英語も十分にしゃべれない。

⇒ストラッサーは、大統領になるために選挙規定を変えようとしたり、民主化プロセスを遅らせようとした。



West Africa 17-23, August, 1992

11

実は、このような「首長層と根なし草の若者の対立」という関係は、NPRCに参加する軍人にも見られます。その関係は、ストラッサーと、ストラッサーを宮中クーデターで追いやったもう一人の人物に見られます。

まずはストラッサーから見ていきましょう。

ストラッサーはフリータウンで生まれ育ち、高校を卒業してからシエラレオネ国軍に入隊しました。父は教師、母は小さな商売をしていたといいます。中等教育を出ているものの英語も流暢にしゃべれない彼は、いわば、定職を持たない若者を代表するような存在だといえます。

ストラッサーにとって一度、権力の座から離れると、もう戻ることができません。NPRCは内圧および外圧から民主化プロセスを始めましたが、ストラッサーは、大統領になるために選挙規定を変えようとしたり、民主化プロセスを遅らせようとした。ストラッサーは若すぎるために大統領に立候補できなかったため、何とか権力を維持しようとしたのです。

ストラッサー、宮中クーデタで失脚 (1996年)

(West Africa, 22-28 Jan. 1996)

SIERRA LEONE

Strasser ousted in palace coup

The head of state was dramatically removed from office and given safe passage to Guinea. Ronald Allen reports

THE SUPREME MILITARY Council has removed Captain Valentine Strasser as head of state and chairman of the Council. This took place at the SMC's meeting at military headquarters in Freetown on January 16.

He was replaced by his deputy, Brigadier Julius Meads Bio, who is also Chief of Defense Staff.

Strasser's ouster is directly linked with what Defense spokesman Lieutenant-Colonel Karufa Kungbo referred to as "his attempt to impede the democratic process." Since last week, there had been reports of Strasser making a last minute attempt to enter the political fray. He was reported to have said that he wanted to become the presidential candi-

date of the National Unity Party.

The SMC reportedly tried to dissuade him from adopting such a course of action, pointing out that it would not only be unconstitutional, but also inimical to the democratic process. The electoral law, enacted by the NPRC, requires a presidential aspirant to be at least 40 years old, and members of the armed forces intending to contest the elections have to resign their commissions three months before the elections. Strasser is only 30 and all along he had consistently denied having any presidential ambitions.

Strasser, according to sources, retorted that the law should be amended to accom-

modate him. He was said to have explained that his change of mind was a result of efforts by some members of the government who had assured him of grassroots support in the country.

In order to carry out the plan, strong-armed supporters were allegedly marshalled by Strasser's younger brother, Reginald who arrived at the NUP convention last week at the same time as Transport Minister Hindolo Trye, a defeated candidate for the leadership of the NUP. He is reported to have attributed the timing of his arrival and that of Strasser's supporters to coincidence.

Strasser's downfall has been long in the making. Ever since the removal of his mercurial deputy, Captain S.A.J. Mumtaz, Strasser had sought to consolidate his grip on power by distancing himself from his colleagues on most issues. He even re-employed all the original coup-makers - his peers - back to the barracks while some of them were out of the country. It has been

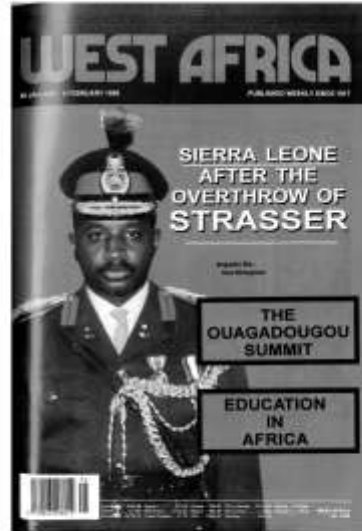


Strasser...replaced by his deputy

しかし、そのストラッサーは、NPRCのナンバー2であったジュリウス・マーダ・ビオにおいやられる。宮中クーデター、すなわち政権内部からのクーデターでストラッサーは追いやられました。

ジュリウス・マーダ・ビオ (Julius Maada Bio)

- 首長層の子弟。
- 軍部でもエリートコースに進むはずが、前線に派遣されたことにより、1992年のクーデターに参加することになる。それ以降、NPRCの主要メンバーに。
- 1996年1月には権力に固執するストラッサーに対して宮中クーデターを起こす。



- 宮中クーデターを起こしたジュリウス・マーダ・ビオは首長層の子弟であり、一度は大学にも入学しました。
- しかし大学を途中でやめ、軍へと入ることになります。
- 軍部ではエリートコースに進むはずが、内戦が発生し、その前線へと派遣されました。そこで他の将校と前線の窮状を訴えるために首都に戻ったところ、その陳情はクーデターになってしまいます。
- 軍事政権NPRCが成立後、マーダビオは主要なメンバーとして活躍しました。
- そして、1996年1月には権力に固執するストラッサーに対して宮中クーデターを起こすことになります。

- 先行研究の中には、ビオによる宮中クーデターを民主化プロセスを進めるための善意のクーデターと評価する者もいる(Hirsch 2001)。一方、首長層を出自に持つビオは、政治には近い。
- 政界を離れた後、ビオはアメリカに渡り、アメリカン大学で国際関係の学士号、および、修士号を取得する。
- 2005年にはシエラレオネ人民党(Sierra Leone People's Party: SLPP)に入党。2012年の選挙で大統領候補になる(しかし、敗退する)。

・先行研究の中には、ビオによる宮中クーデターを民主化プロセスを進めるための善意のクーデターと評価するものもあります。とはいえ、首長層に出自を持つビオはストラッサーとは違い、政治には近い距離にあります。とにかく、ビオによる宮中クーデターの後、民政移管は達成されました。

・民政移管後、政界を離れたビオは、アメリカへと渡り、アメリカン大学で国際関係論の学士号および修士号を取得します。

・その後、シエラレオネへと戻り2005年にはシエラレオネ人民党、すなわち、SLPPへと入党します。SLPPは首長層を支持層に持ちます。彼は2012年の選挙で大統領候補にまでなりました。

「下からのクーデター」を起こした将校の一人だったビオは、のちに首長層の子弟として期待されるように正規の政治家となった。



- <http://www.okayafrika.com/news/presidential-elections-sierra-leone/>
- <http://www.thesierraleonetelegraph.com/?p=5828>

すなわち、「下からのクーデター」を起こした将校の一人だったビオは、のちに首長層の子弟として期待されるように正規の政治家となったのです。

テーマ1. まとめ

ストラッサーとビオの関係は、「根なし草の若者vs首長層」という内戦の構図と平行といえる。

このようにストラッサーとビオの生き立ちを見ていくと、その関係は、根なし草の若者と首長層という内戦の構図と平行といえなくもないでしょう。

では、次にテーマ2に移ります。

テーマ2.

独裁者になれなかったストラッサーは、その後、
政権を追われた後、根なし草の若者ともいえる
生活を送った。

17

独裁者になれなかったストラッサーは、その後、政権を追われた後、根なし草の若者ともいえる生活を送った、ということです。

いまから、いくつかの新聞記事をお見せします。ストラッサーのその後を取り上げる記事は、人々の笑いを誘うような記事でした。

まずは、クーデター後のストラッサーを見てみます。

宮中クーデター後のストラッサー

- 宮中クーデターの後、ストラッサーはそのままヘリコプターでギニアへと連れて行かれ、ギニアへと亡命した。
- その後、アフロ・カリビアン協会(Afro-Caribbean Society)から奨学金をとり、ウォーウィック大学(Warwick Univ)へと入学する。

宮中クーデターの後、ストラッサーはギニアへと亡命します。

- その後、アフロ・カリビアン協会から奨学金をとり、イギリスのウォーウィック大学で法学を勉強することになったといえます。

⇒そこからの軌跡を新聞記事から見ていきましょう。



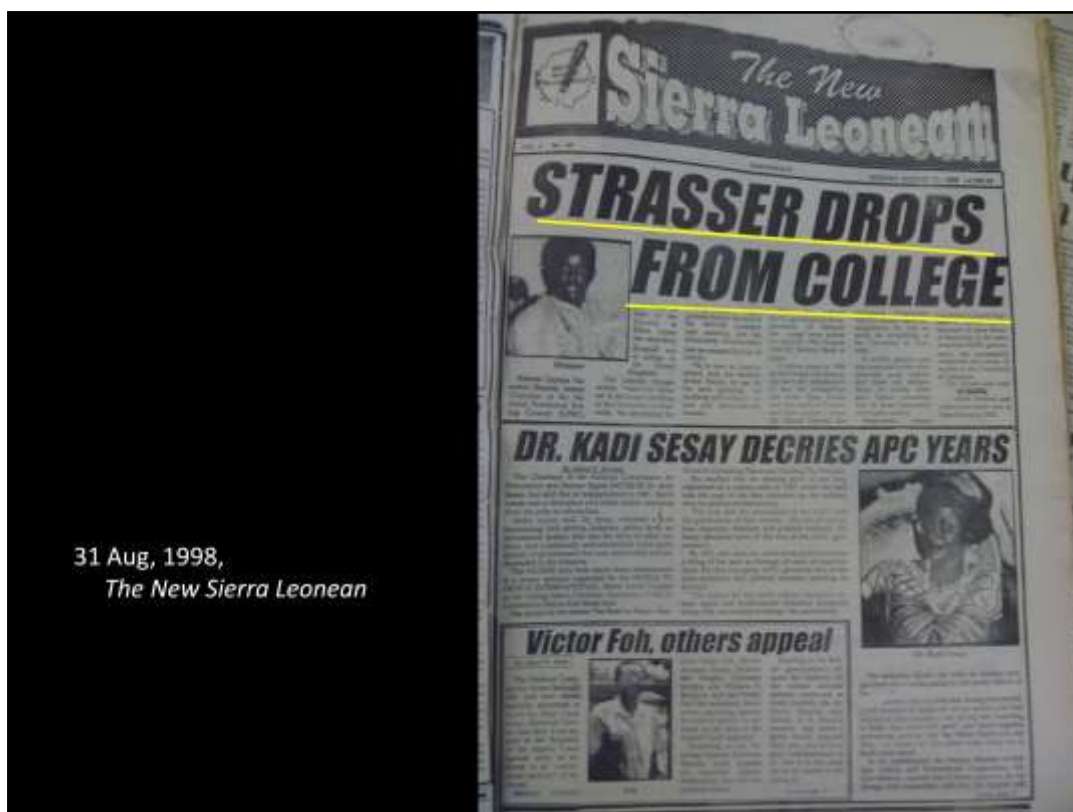
「ストラッサーの
せいで授業は
大騒ぎ」

9 Oct. 1996, Concord times

まずは、これが大学に入った時の記事です。宮中クーデターから半年後のことです。

31歳の彼はヒップホップスターのような格好で授業を受け、他の学生と同じようにカフェテリアで並んでいるといいます。

ちなみに既にイギリスに住んでいた兄弟の家に居候をしていたものの、追い出されたとのことです。



31 Aug, 1998,
The New Sierra Leonean

次の記事です。Strasser drops from college. つまり、落第します。

次に行きます。



Strasser fights in London nightclub。ストラッサーはその後もイギリスで生活をしていたのですが、今度はクラブでケンカします。

そのあと、結局、彼はシエラレオネに帰ってきます。学生ビザが切れてイギリスにいられなくなった後、恩赦がシエラレオネ政府から与えられ、シエラレオネへと帰国しました。

次は、シエラレオネに帰国した後の記事です。。。結構、びっくりします。



Strasser Begg。ストラッサー物乞い。。

首都の食堂で、何かくれといい、ライスをもらっていたといいます。

そして、次が私がかみつけられた最後の記事です。

* ポヨ(poyo)=ヤシ酒

22 Oct, 2002 Pool



Strasser opens Poyoshop at Grafton

Poyoとはヤシ酒のことで、ヤシの果汁をペットボトルに入れておけば、自然発酵して数時間で飲めるようになるというものです。

誰にでもできる、参入障壁の小さい商売です。

シエラレオネの人々は、ストラッサーを笑いものにする一方、同情もした。

- 記事では、近所の人が「政府がストラッサーを助ける必要がある」と言っていると紹介。
- ストラッサーに同情するような文体。

ネット上で見つけた最近のストラッサーの記事によると、「ごく小額の年金のほかに友人や親族からのカンパで暮らしている」という



知名度が高いからこそ、誰かのクライアントになれない「根なし草の若者」でも不幸な事例ともいえる。

その後、ストラッサーは、母親とともに暮らし、道端でジンをあおりながら暮らしているといえます。

その生活の糧は、政府から提供される月に50ドルほどの年金だといえます。一日2ドルにも満たない額です。

そのほかに、友人や親族からのカンパをもらっています。これは「根なし草の若者」でも不幸の事例です。

このようにストラッサーはシエラレオネへと戻り、根なし草の若者のような生活をします。庶民はその様子を笑いものにする一方で、同情もしたようです。

記事の中では、「政府がストラッサーを助ける必要がある」という近所の人々の声を紹介していました。さらに、記事の論調も、ストラッサーに同情するような文体です。

シエラレオネでは、「すべての者がだれかに頼っている」ということわざがあるように、パトロン＝クライアント関係がソーシャル・セキュリティとして機能しています。つまり、誰かを親分として頼るのです。しかし、過去に高い地位にあったストラッサーは、自分のパトロンを見つけることができないようです。お金がないのに、誰かの下で働くことができないことは、ソーシャル・セキュリティがないことを意味します。

「政府がストラッサーを助けなければならない」という近所の人言葉は、パトロン＝クライアント関係を通してソーシャル・セキュリティを持たないストラッサーの状況を反映しているのではないのでしょうか。

まとめ

「下からのクーデター」に参加した人物をみると、シエラレオネの社会と国家が見えてくる。

参考文献

Richards, P., K Bah and J Vincent (2004) *The Social Assessment Study: Community-driven Development and Social Capital in Post-war Sierra Leone*. World Bank.

Paul Richards

Hirsch, J. (2001) *Sierra Leone: Diamond and Struggle for Democracy*. Boulder: Lynne Rienner.

Kandeh, J. (2004) *Coups from Below: Armed Subaltans and State Power in West Africa*, New York: Palgrave.

Kilson, M. (1966) *Political Change in a West African State: a Study of the Modernization Process in Sierra Leone*. Harvard University Press.

25

まとめます。

本発表では、シエラレオネの軍事政権NPRCとその構成員を考察してきました。その考察からは、シエラレオネの社会と国家が見えてきたと思います。

今回の発表をしようと思ったのは、私が内戦についての新聞記事を収集している中で、面白おかしく書かれたストラッサーについての記事をいくつか見つけたことにあります。その記事は、内戦の凄惨な報道がならぶなかで一種の清涼剤のような役割を果たしていました。本発表は、そんな記事から読み取れることを論じました。